

二〇一六年二月二日 四旬節第二主日

第一朗読 創世記15・5-12 17-18

5 主は彼を外に連れ出して言われた。「天を仰いで、星を数えることができるなら、数えてみるがよい。」そして言われた。「あなたの子孫はこのようになる。」

6 アブラムは主を信じた。主はそれを彼の義と認められた。

7 主は言われた。「わたしはあなたをカルデアのウルから導き出した主である。わたしはあなたにこの土地を与え、それを継がせる。」

8 アブラムは尋ねた。「わが神、主よ。この土地をわたしが続ぐことを、何によって知ることができましょうか。」

9 主は言われた。「三歳の雌牛と、三歳の雌山羊と、二歳の雄羊と、山鳩と、鳩の雛とをわたしのもとに持って来なさい。」

二〇 アブラムはそれらのものをみな持つて来て、真つ二つに切り裂き、それぞれを互いに向かい合わせて置いた。ただ、鳥は切り裂かなかつた。

二一 禿鷹がこれらの死体をねらつて降りて来ると、アブラムは追い払つた。

二二 日が沈みかけたころ、アブラムは深い眠りに襲われた。すると、恐ろしい大いなる暗黒が彼に臨んだ。

二三 日が沈み、暗闇に覆われたころ、突然、煙を吐く炉と燃える松明が二つに裂かれた動物の間を通り過ぎた。

二四 その日、主はアブラムと契約を結んで言われた。「あなたの子孫にこの土地を与える。エジプトの川から大河ユーフラテスに至るまで、